

## 第3回 表現部会研究会議事録

2019/11/05

### 役割

部長：五條小学校 竹林先生

講師：県教育委員会 岩垣指導主事

司会：委員長 立花先生 [真菅小学校]・副委員長 柳沢先生

記録：藤田先生 [二上小学校]、木村先生 [真弓小学校]

授業者：羽山先生 [広陵東小学校]

### 今日の授業を振り返って 授業者：羽山先生 [広陵東小学校]

- 児童はとても緊張したようで、教室に戻ってほっとした様子があった。
- 前時までの様子ということで、最後のページにつけている。人前で踊るのが苦手な児童が多かった。3時間終了後にもアンケートをとってみた。
- 曲の選定が難しかった。1、2年生は、BPM140～150くらいが踊りやすいようだ。
- 見せるダンスにこだわりすぎていたが、「見せるダンスじゃないよ」という声かけをした。
- 児童は、戸惑いつつも、ダンスは楽しいと言ってくれている。

### 今日の流れ

- 授業者から指導案について振り返り、質疑応答。
- 柱①児童同士の関わりについて（児童同士が声をかけ合うことで、児童の動きにどのような変化があったか。）
- 柱②教師の支援の在り方について（声かけによって、児童の動きにどのような変化があったか。）
- 柱③参観者が見つけた児童の「よい動き」について（参観される中で、よい動きだと思われた動き。また、よい動きにつながる場の工夫など。）

柱①児童同士の関わりについて（児童同士が声をかけ合うことで、児童の動きにどのような変化があったか。）

#### A グループ

- 児童同士の声かけは、ほぼなかった。グループになって、声を掛け合うのは、難しそうであった。友達の動きを真似して広がっていく感じであった。リードする子がいて、それにアレンジを加えていく感じ。男の子がペアでやっているところ、声はかけていなかったが、ペアになって、リードしてもらって、動いていた。
- 準備運動のところで、「何してもいいねんで」という声かけがあった。最後のポーズを揃えなくて、「こっちこっち」言っている様子もあった。
- 周りの動きを見て動くことができていた。しかし、見ないといけないので、円になって内側に向きがち。背中を感じることで、想像して動くことが出てくればさらにいいのではないかと。
- 「話をしてもいいし、踊ってもいいし」という先生の声かけがあったが、曲がなって踊ってい

る時間に話すのはなかなか難しそうであった。

- かたくなに、自分の動きをやり続ける子がいて、グループでそれに合わせるような動きも見られた。
- 声に出さずとも、お互いに見て動きながらできていた。言葉で「こうしような」ではなく、お互いに見合っただけで意思疎通しようとしていたのが、素晴らしいことなのではないか。
- いい動きが後半につれて増えていた。たった一時間の中で、成長が見られた。
- 決めポーズの前にタイミングを合わせたり、心を通じ合わせたりしているようなことがとても素晴らしかった。
- 発表会の前と後で、どう変わったのか。変わり方が重要である。友達や先生からほめてもらったことや新しい動きを増やしてみたりして、変化が見られたら更によかった。
- 本時の5番と6番をもっと時間をとって見て、その変化が見られたらよかった。
- 新しい動き、いろいろな動きの具体を引き出せたらよかった。
- 5回分くらい繰り返し踊ったところで、間に共有、褒める時間をもって、いい動きを広げていけたらよかったのでは。

## B グループ

- 声の掛け合いよりも、真似をする様子が多かった。
- 見せ合いをして動きが小さくなったグループもあったようだ。
- 見せ合う時の距離が遠かったのも、もっと近くでもよかった。

## C グループ

- 日頃の認め合いが出ていた。
- お手本があることで安心する児童も多いのでは。児童同士でまねしてOKというのがよかった。
- 特別支援学級の児童も、いっしょに動くような様子もあって、すてきな集団だと思った。

**柱②教師の支援の在り方**について（声かけによって、児童の動きにどのような変化があったか。）

## A グループ

- かけ足しながら、声かけをしていく様子。児童も動きやすくてよかったのでは。授業者がたくさん体を動かさず様子が、児童にとってもよかった。児童の動きがとまらず、動きながら考えることができていた。先生もどんどんまわって、声かけされていて、すごいなと思った。
- 空間が空いているところを使うようにという声かけがあった。後ろの空間が空いているときに、全体への声かけだけでなく、グループのところに個別に、空いているところを指示していた。
- よい動きを拾い上げていくところ、違う声かけがあったら、さらに広がったのでは。「前にないうごき」をどこまで広げていけるか。忘れてしまっていたところをどう引き出していくかが重要。上下とか、左右の声かけがあれば、さらに広がるのではないか。そういうカードを準備してあげるといいのでは。前時までの振り返りで出たことは、全部できていたので、児童はどんどんできるようになりそう。

- 承認の声かけもありつつ、姿勢の注意の声かけもできていた。「真似しても OK、真似じゃなくても OK。」という声かけがよかった。児童がやりやすかった。こうしなさいとは言わずに、褒めて、一緒に動いてみたりしていた。教師が指定するとそれが絶対になってしまいがち。それに気をつけていたと思う。
- もっと大げさにしてみてもいいのでは。言葉だけでなく、動きで表現して伝えるのもあり。
- ホワイトボードの視覚支援がよかった。振り返りのときも、児童はそれを見ながら、発表のヒントを得ていた。
- 褒める時は、マイクで褒めるべきなのか。他のグループが褒められているのを見ていなかった。グループの外にも聞こえるようにほめること。でも音楽の音も聞こえるように。バランスが重要。他のグループを見てまねするのもできれば更によくなると思う。

## B グループ

- 最初の目当ての確認で、カードを使っていたので、わかりやすかった。タンバリンでリズムをとっていたのがいい手立てになっていたのでは。ただ、マイクは少し聞きづらかったか。
- 先生がそばに行って、どんどん声かけしていたので、それが児童にとってはよかった。
- 補充の30分の時間で、どんなことをされたのか気になった。いい動きのエッセンスを知りたい。→その前の3時間目のときに、ジャンプやステップだけだった。言われた動きを真似することばかりだったが、30分の時間で、もう一度自由に、児童から出た動きをどんどん共有して、人に見せる踊りではなく、自分の踊りをさせた。

## C グループ

- いろんなところに仕掛け。「空間見つけてね。」という声かけで広がりがあった。
- まねっこ遊びで、しゃがむ、ねじる、へそを動かすがたくさんあった。動物園に行こうよでも、たくさんひねりを入れていたのがよかった。
- タンバリンもつかって、いろんな子と関わる様子があって、遊びを用いて、心を開くのもよかった。
- T2の先生も、遠すぎず、近すぎず、いい距離感で支援されていたのがよかった。
- 事前に良い動きを出しすぎて、正解探しみたいになってしまったところもあるか。ねらいとしてもっているものが出たときに、他のグループにも聞こえるように褒めて、広げていく。
- 自分なりにリズムに入っていた子もいて、肢体不自由の子も自然に踊っていて、いい学級だなと思った。

柱③参観者が見つけた児童の「よい動き」について(参観される中で、よい動きだと思われた動き。また、よい動きにつながる場の工夫など。)

## A グループ

- 円から、貨物列車の形になる動きがあった。
- ずっとサイドステップだった子が、手も動かしていった。組み合わせがたくさんあってよかった。

た。

- サビのところで盛り上がるような動きがあった。
- 腰を動かしたらもっといい動きになったのでは。ねじるというのもあってもよかった。速い曲では難しいのか。上下、ねじるように、動かすのは難しい。まねっこ遊びのときに、4はく、2はく、をしてみて、ダブルカウントができるようになったら、さらによくなると思う。
- ボードにしゃがむなどあればよかった。まねっこ遊びの時に、いろんな動きがあったので、それがダンスにつながれば。
- 最後、自分でできるところが楽しそうで、一人の動き、二人の動きが出ていた。
- グループで動く、合わせるというのは2年生には大変だったのだろう。
- 評価が難しい。グループをリードする女の子の動き、グループ全体がそれに合わせる。一人で、ひたすら自分の動きをしている子。自由に踊るということであれば、それでもいい。

## B グループ

- 先生がたくさん動いて、それを真似している子が多かった。教師が動くのが大切だと思った。
- ハイタッチもあってよかった。
- 曲のテンポが早いので、基本ジャンプが多かった。おへそは確かに動いているが、それ以外も出てくると良いと思う。
- 曲の感じが変わったときに、縦揺れが横揺れに変わっていた子もいた。
- 電車になって動くグループもあって、先頭が変わり、形が変わっていくようなところもよかった。
- 動くだけじゃなくて、止まる動きがあったのがよかった。

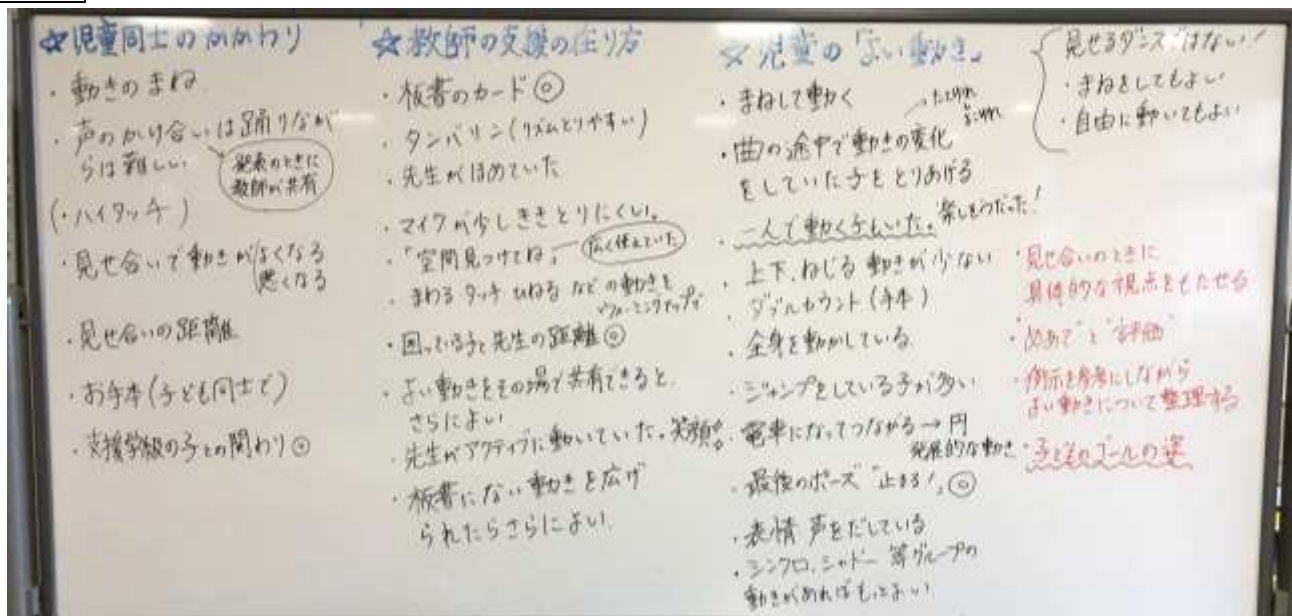
## C グループ

- 体のいろんな部分を使っていた。
- グループを先導して動いている子、それを真似して動く子、それも良いと思った。
- 曲調の変化を、動きにいかしているところもあって、よかった。
- とても表情豊かな児童もいた。変顔している子、笑顔で踊っている子、決めポーズのところで、口で「おー」と言っている子など。
- 止まるのも表現の一つ。それを織り交ぜる動きがあればさらに良い。
- まねしてシンクロ、後ろからついてシャドウの動き。回る動きも、いろんな動きがある。小さく、大きく、広く、スキップ、手をつないで、など。

**指導助言** 講師：県教育委員会 岩垣指導主事

- 技能だけの見方ではなく、思考力・判断力・表現力などいろいろな視点からバランスよく授業を工夫することが大切。
- 児童が主体的に動くためには、自分が目指したい姿をイメージできるようにする。そのための教師の声かけや支援が重要。また、運動の特性に触れる楽しさを重視した導入の工夫も大切になってくる。
- 話し合いや伝え合う場面では、何を伝えるかを明確にすることが大切。「これを見る」という観点があれば話し合いも焦点化でき、伝え合うことができる。
- 本時では、児童が授業を楽しんでいて、よく動いていた。笑顔で活動している児童も多かった。曲に合わせて繰り返し踊るごとに動きが出てきてよかった。
- 児童の授業前のアンケートには、リズム遊びに対して「間違えたらどうしよう」や「覚えにくいから」という意見があったが、今回、取り組んだことで、児童のリズム遊びに対する見方も変わったと思う。
- 前時の児童の振り返りを次の授業に生かしていたのがよかった。音楽をかける時間を修正したり、苦手な児童への支援を考えたりしていた。児童に振り返りを書かせるのであれば、次の時間に生かすことを大切にしてほしい。
- 今日使用した曲などを、研究集録にまとめていけたら今後にも繋がっていくと思う。
- 「おへそを弾ませるのが大事」という児童の発言があり、よい動きを共有する場面があった。
- めあてを確認するところでは、その時間に評価する観点もめあてに入れておく。学習カードの振り返りの項目もその時間に合った観点で作成するとよい。
- 話し合いの場面では、何について話し合うのかを整理しておくとうよかった。また、他のグループの動きを見る場所が離れていたの、できるだけ近くで見た方が動きが分かったのではないかな。
- よい動きについては、まずは小学校学習指導要領解説に例示されている動きを参考にする。

**白板記録**



前時までについて

①アンケート結果

	第2時			第3時		
	◎	○	△	◎	○	△
リズムに乗って楽しく踊れた	14	8	1	16	3	1
おへそを動かして、大きく踊ることができた	13	8	1	14	6	
新しい動きを見つけて踊ることができた				16	5	

第3時終了後のアンケート

- ①音楽に合わせて踊るのは好きか。【はい 人】 【いいえ 人】  
 ②みんなの前でダンスなど発表することは好きか。【はい 人】 【いいえ 人】

☆第2時子どもの感想

- おへそを動かせた気がする。 ●おへそを動かすのがしんどかった。でも上手にできた。  
 ○楽しかった。

☆第3時子どもの感想

- ペアで電車ごっこができたのがうれしかった。 ○これからもみんなと踊る。 ●足が痛くなった。  
 ○友だちと楽しく踊れた気がする。 ○もっといろいろな動きがしたい。 ○動くのが楽しかった。  
 ○また踊りたい。 ●2人で踊るのが難しかった。どうやって踊ろうかと思った。  
 ○前より上手にできた。 ○すごく楽しかった。

②教師の視点からの子どものようすや指導について

☆第1時

(子どもたち)

- 新聞紙では、自分なりに考えて動くことができていた。  
 ○まねっこ遊びではまねをする楽しさを味わうことができていた。  
 ○リーダーに続けが一番楽しそうだった。仲間と動くことの楽しさが伝わった。2, 3, 4番と続くごとに動きが大きくなっていった。

(教師)

- 座ってリズムをとったが、その時間が長すぎた。

☆第2時

(子どもたち)

- 動物園へ行こうよをジェスチャーを入れながら休み時間でも遊んでいる様子が見られる。  
 ●跳ぶ・スキップなど、同じ動きばかりになりがちであった。

(教師)

- ミラーやまねっこの時、教師自身が動きをするのに困ってしまった。  
 ●1曲が長すぎた。

☆第3時

(子どもたち)

- グループになると、自然と円をつくったりしていた。  
 ●オブジェ作りではチームで作り上げるのが難しかったようだ。  
 ●リズムが取れない。いろんな曲を流れてリズムの差を感じるができなかった。  
 ○ホメチギリストと勇氣100%が踊りやすそうであった。  
 ○特に踊りが苦手な子どもはグループで踊ると踊りやすそうだった。1人で踊った方が踊りやすい児童もいた。  
 ●一方、グループで踊ると真似をしないといけないと感じている児童もいた。  
 ○ほめると、それを真似する子どもたちがいた。

(教師)

- 第2時と同じように、教師自身がよい動き方の視点に困った。曲は短くなって良かった。  
 ●意見を交流した後、踊る時間を持てなった。踊れたら動きも変わったかもしれない。

☆ (予備の時間)

友だちとの関わりを中心にメドレーでいろいろなペアグループになって踊ってみた。